



まごころ児童デイ

開所日時 月・水・金曜日 15時～18時
土曜日 10時～13時
休日 12月29日～1月3日
7月第3月曜日

卒業おめでとう

7人の児童が中学に進級しました。

3年前にまごころ児童デイを開所した時から利用していただいたMちゃんやS君など7人は4月からこの場所を利用することは出来ません。引き続き係ることがどんなにいいことかが分かっているけれども、制度上この広場でのデイサービスに受け入れることが出来ないのです。

居宅介護や移動支援での、利用をお願いして、まごころとの係わりを継続して頂きたいと思っております。
楽しい中学生生活をお過ごし下さい。



卒業した児童たち



みんなで歌った「みんな友達」



まごころ卒業生のみなさん、中学進学おめでとうございます。この度、まごころより7人の卒業生があり、みんなで歌を歌ってお別れ会をしました。

私が児童デイに関ってから1年半経ち、こんな短い間にも大きな発見が沢山ありました。初めは何を伝えようとしているのか理解できず悩みましたが、少しずつ「あー」の一言でも色々な意味を持ち、「あー」の一言で伝えられる彼らの表現力を素晴らしく感じます。まごころを卒業しても、「みんな ともだち」。いつでも成長した姿を見せに来てくださいね。

スタッフ Y.M

「みんな ともだち」
みんないっしょに プールであそんだ
みんないっしょに えをかいた
みんないっしょに おさんぼをした
みんないっしょに おおきくなった

みんなともだち ずっとずっとともだち
おとなになっても ずっとともだち

授産施設訪問開催

説明会を開催します

一宮まごころでは障がいを持った児童が将来、社会にできるための支援として授産所等の施設訪問を昨年より実施しています。

今年5月8日(火)に予定しております。訪問先は利用者のご家族からの要望により半田市の社会福祉法人「むそう」になりました。遠方ということもあり、「むそう」だけの訪問になります。

つきましては説明会を次のように開催しますので参加希望の方は出席をお願い致します。

日時 4月13日(金) 10時～11時
場所 まごころふれあい広場
内容 施設訪問の進め方について

施設訪問の主な内容

訪問先 半田市長根町3丁目1-11
半田市の社会福祉法人「むそう」
喫茶なちゅ 板山店
生活支援センターあっと
アートスクエア

交通 一宮市の福祉バス利用

予定案 9:00 まごころ出発
10:30～14:30 施設訪問
17:00 まごころ到着



アートスクエア内のレストラン

ミニデイだより



春ほのかに

70歳の利用者男性のTさんは親子ほど年が違う90歳のAさんに「おータッチ、タッチ」と手と手をパチン。「元気かい?」「元気元気」朝の挨拶です。お二人のさわやかさが、ほかの利用者さんにも、ほのぼのと伝わってきます。「Aさんのところの若奥さん、きれいやね。やさしそうでええねえ」とKさん。「若奥さんってだれのことやねえ。そんなこと言われたことない。うちの嫁さんのことか?嫁さんと言わんとわからんわ。まあまあ器量はええよ。ようやってくれて幸せや」嫁さんという言い方の方がよく通じるようでした。

「30代で死なれて、4人の子供を一人で育てよく働いたもんや。食べささにゃならんかったで」とAさん。「再婚しようと思わなかった?」Oさん。「その時はそんな思う暇なかった。けど、恋には年は関係ないよ」

90歳のAさんのおしゃれな言葉にみなさん感心したり大笑いしたり。不平不満を言われず感謝しながら、前向きに生きておられるAさんの姿は、スタッフの鏡であります。

机の上は春の花がいっぱいです。水彩で描く方、クレパスで描く方、おしゃべりをしながら、花のにおいを楽しんでる方もあります。

「ぼけの花にしては大きいなあ」とKさん。「大ぼけや。私みたい」とすかさずSさん。楽しいお話しをしながら、画用紙いっぱい描かれた花はどれも微笑んでいます。

外は桜の花がまだ恥ずかしそうに、ポツポツ。

新しいスタート月、スタッフ一同新鮮な気持ちでお待ちしております。

まごころふれあい広場をご利用下さい

ふれあいサロン 木曜日 10時～12時
親子ふれあい広場 月曜日 10時～12時

心っれづれ



愛だよ愛

山口陽子

以前に訪問看護でかかわった利用者家族と9年ぶりにお会いする機会がありました。

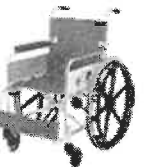
とても懐かしく、昔話に花を咲かせていたとき、その利用者の家族から「私たちが介護していたときは、今のように色々な制度がなくて大変だったけれど、なんていうか温かみがあったのよね。今は介護が社会化されたというけれど何か足りないような気がするのよね...。どう思われますか。」と言われて「う〜ん」と考えさせられてしまいました。

これは仕事をしていく上でとても大切なことを久々にあった方に再確認させられたのですが、時にこのような刺激と戒めを受けることができる私は幸せだな〜と思いつつ、サービスは選べる時代になったけれど「愛だよ愛」と肝に銘じながら今後の仕事に生かしていこうと思います。

(山口さんはこの3月に事務局を退職されました)

題字/澤田清敏さん

車椅子デビュー



主人の母は83歳になりました。40歳代で夫を亡くして女一人で4人の子供を育てました。

近頃、足の痛みを訴えるようになり、歩いているのが難しくなりました。車椅子に乗る事は恥ずかしいことで、哀れと思いついていました。

再々の外出の勧めにも、その気になってくれませんでした。帰省していた娘に話してもらったらなんと、車椅子で外出したいとの事でした。早速沢山のお弁当を作って138タワーへ出かけ、初めてのドキドキの車椅子デビューが出来ました。タワーへ上り遠くに見える山々。美しいこと。母にはどんな景色に映ったのでしょうか。

桜が咲く頃、今度はゆっくり散歩が出来ることを願っています。(ワーカー Y)